

経営比較分析表（令和5年度決算）

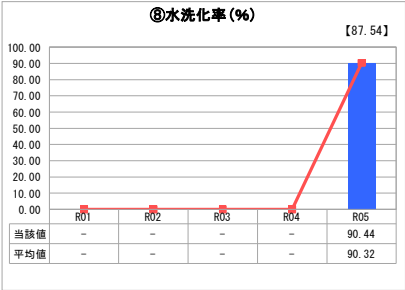
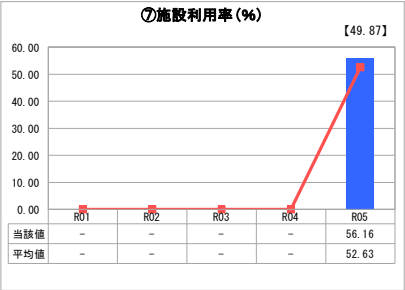
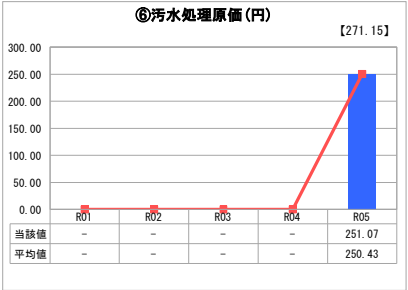
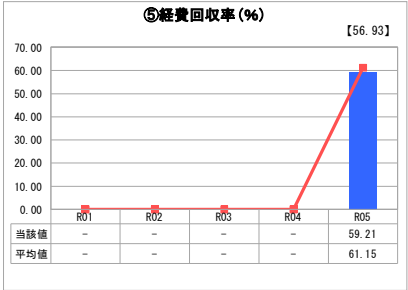
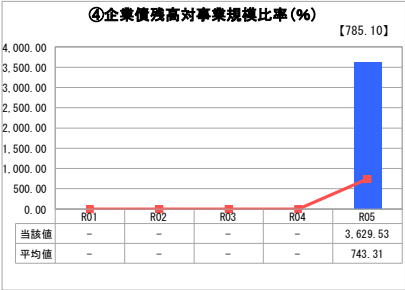
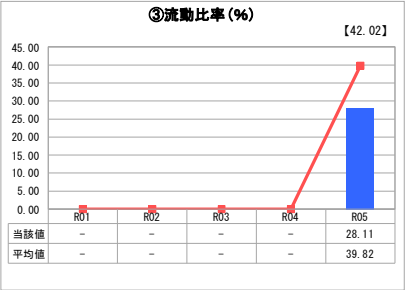
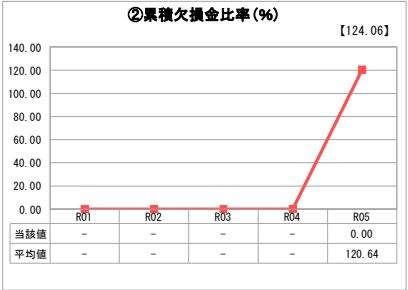
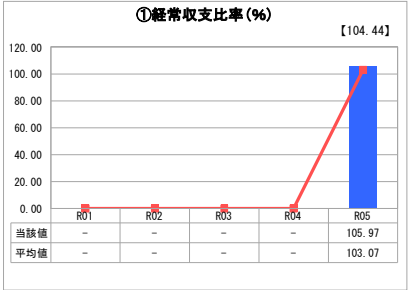
茨城県 水戸市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	69.34	3.25	68.76	2,989

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
268,843	217.32	1,237.08
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,704	8.71	999.31

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
100%を超えているが、収益の約5割を一般会計補助金で賄っている状態である。費用が使用料収入を大きく上回る状態であるため、維持管理費の削減など経営改善に努める。

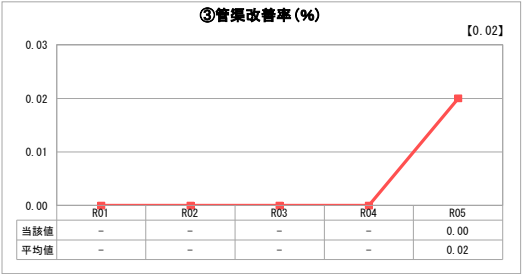
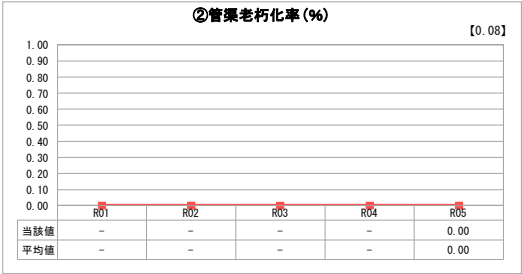
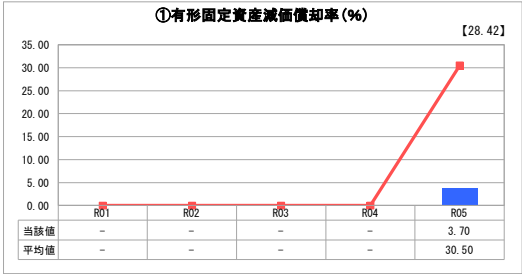
③流動比率
企業債に係る流動負債が大きく、流動比率を低下させる要因となっている。新たな施設の建設を行っていないため、今後は、企業債残高の減少に伴い指標が改善する見通しである。

④企業債残高対事業規模比率
当事業会計が負担すべき企業債残高が多いことにより、類似団体平均よりも大きな値となっているが、今後は企業債残高の減少に伴い、指標が改善する見通しである。

⑤経費回収率 ⑥汚水処理原価
経費回収率について、類似団体平均よりも低くなった。使用料改定に係る経過措置により、使用料収入が減少したことが要因の一つであると考えられ、今後、措置の終了に伴い改善するものと見られる。汚水処理原価は類似団体平均と同程度となった。今後も費用の削減と使用料収入の確保に努める。

⑦施設利用率 ⑧水洗化率
施設利用率、水洗化率ともに類似団体平均と同程度となった。水洗化率は平均程度の水準にあるが、今後、地区内人口の減少が見込まれるので、接続件数の向上に努める。

2. 老朽化の状況



全体総括

農業集落排水事業では、類似団体平均程度ではあるが、汚水処理原価が高く、経費回収率が低い状態にある。また、企業債残高が事業規模に対して多いことから、流動比率も低い。引き続き収入の増加と経費の削減に取り組む必要がある。

経費の削減について、広域化・共同化による施設の統合などにより、改築・維持管理費を節減し、効率的な運営を行っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。